

●空き店舗活用補助金を、
我孫子駅周辺を除く全ての地区を補助対象に拡大し、空き店舗の解消に努めます。

●起業・創業の支援

*シンポジウムや創業塾などを開催するとともに、創業者の事業所等の賃借料を補助する「我孫子市創業支援補助金制度」の運用を開始し、起業・創業支援のさらなる充実を図ります。また、企業立地奨励金の制度化に向けた検討を進めます。

●地域コミュニティの活性化

*地域会議は我孫子北、湖北台、布佐北の3区域での設置を目指します。また、既存の地域会議の運営状況を検証し、地域のさまざまな主体が連携して地域課題に効果的に取り組めるよう支援します。

**みんなが安全にくらせ
るまちづくり**

●災害時の体制強化

*災害時に高齢者や障害者などが迅速に避難できるよう作成を進めている「避難行動要支援者名簿」は、3月下旬に完成します。名簿は、警察や社会福祉協議会、民生委員に渡すとともに、自主防災組織や自治会等と連携し、自助・共助・公助を組み合わせた避難支援体制の構築を図ります。

*避難所となる小学校に収容人数に応じてマンホールトイレを整備し、仮設トイレや簡易型トイレと合わせ、計画的に整備します。

●消防救急体制の強化

*救急隊を1隊増やし、常時5隊で救急車を運用し対応します。

●防犯対策の強化

*駅周辺の主要道路を中心に防犯カメラを設置し、犯罪の起こりにくい環境整備に努めます。

●空家対策

*市民安全課内に空家対策担当を新設し、対策を強化します。

●水害対策

*布佐排水区では、雨水幹線の実施設計を行います。

*柴崎排水区では、北新田堤外排水路の拡幅工事を進めるとともに、後田樋管改築については、堤防整備を行う国と協定を結び、工事に着手します。

*我孫子4丁目地区では、9月の完了を目指し、調整池の築造を進めます。

*久寺家第1排水区では、我孫子二階堂高校の西側道路に雨水本管の布設工事を進めるとともに、側溝の改良などを行い、浸水対策工事を完了させます。

*天王台6丁目地区では、暫定貯留式浸透施設の築造工事を行います。

*若松地区では、引き続き雨水管を布設します。

●バリアフリーの推進

*天王台北口駅前広場に身体障害者用の車両降降場を設置し、歩車道の段差解消を行います。

●若い世代に選ばれるまちづくり

●若い世代の住宅取得への支援

*制度が3年目を迎えることから、これまでに補助制度を利用した方に満足度アンケートを実施し、より効果的なものとなるよう制度の見直しを検討します。

●我孫子市結婚相談所「あびこい♡ハート」

*今後も、「あびこい♡ハート」を通じて出会い、結婚される方が増え、我孫子に定住してもらえように努めます。



▲けやきプラザ11階の「あびこい♡ハート」

●産後ケア事業

*今後も支援を継続して実施し、安心して子どもを産み育てられる環境をつくり、市で生まれる子どもの数を増やしていけるように努めます。

●私立保育園の施設整備

*我孫子地区では、台田で定員100人の「(仮称)あびこ菜の花保育園」が4月に開園します。また、定員19人の小規模保育事業所が4月に若松で、11月には寿で開所する予定です。

*天王台地区では、29年4月の開園を目指して、柴崎と柴崎台の2カ所に各定員70人の保育園の整備を進めます。

*新木・布佐地区では、4月から布佐宝保育園が幼児連携型認定子ども園に移行することにより、これまで以上に質の高い教育、保育を行う体制を整えます。

●私立保育園・幼稚園の運営支援

*保育士不足の解消を図るため、保育士の宿舍を借り上げた事業者に対して、経費の一部を補助する制度を引き続き実施するとともに、幼稚園が行う施設修繕への補助を行います。

*預かり保育を利用する保護者が増加していることから、経済的負担の軽減を図るため、預かり保育利用への助成も行います。

●児童保育室の充実

*我孫子第一小学校で、児童保育室の拡張工事を行います。

●子どもの居場所づくり

*今年6月に、市内11校目のあびこ子クラブを湖北小で開設するとともに、29年3月の開設に向けて、新木小あびこ子クラブの新築工事を進めます。

*我孫子第二・第四小学校の児童保育室にAEDを配置します。これにより、校外に設置した全学童保育室への配置が完了します。

●中核となる機能を備えた児童発達支援センター

*こども発達センターの施設は、3月末に竣工する予定です。4月からは、発達支援が必要な子どもの通所と相談支援の拠点となり、療育支援の中核となる機能を備えた児童発達支援センターとして運営します。

●総合教育会議の運営

*教育委員会と十分な意思疎通を図りながら、我孫子の子どもたちが安心して快適に学べるよう、教育行政を推進します。

●小学校の学習環境の充実

*子どもたちが快適に学習に取り組めるよう、リース方式により、全ての小学校にエアコンを設置します。

●平和事業

*長崎に中学生を派遣し、被爆の実態や平和の大切さについて学んでもらうとともに、広島や長崎への派遣体験をもつ若い世代が中心となって平和事業を実施していきけるよう、市民と連携

しながら、平和の尊さを伝えていきます。

●常磐線・成田線の利便性向上

*JR常磐線が開業120周年を迎え、12月25日には、我孫子駅を含む6駅が開業120周年となります。沿線自治体や地元商工会などと連携しながら、記念の横断幕やポスターの掲出、記念グッズの作製、配布などを行い、常磐線と沿線地域のイメージアップにつなげます。

*我孫子駅発着の臨時特急「踊り子号」は、春の増発列車として、6月26日まで期間を延長して運行することとなりました。より多くの人にご利用してもらうことで、「踊り子号」の定期運行化を目指します。

*新木駅の整備は、4月からは駅南口と北口のエレベーター・エスカレーターの新築に着手し、6月に南側12月には北側のエレベーター・エスカレーターが利用できるようになります。また、駅周辺の復旧工事も12月に完了する予定です。

●健康寿命を延ばす取り組み

*9月に市民と市民活動団体とのマッチングイベントをけやきプラザで開催します。定年退職をした方に多く参加していただき、現役時代につなげた経験を市民活動につなげてもらうとともに、活動を通じて健康の維持を図ります。

*健康寿命の延伸や医療費の抑制につながるためのデータヘルズ計画を、千葉県国民健康保険団体連合会に設置されている保健事業支援・評価委員会の意見を踏まえ策定します。

●高齢者の生活支援

*生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート地域で行う「生活支援コーディネーター」を配置します。

*市のホームページでは、PDFを音声で読み上げる機能を新たに追加し、高齢者や視覚障害を持つ方などに配慮します。

●介護予防の推進

*筋力アップや口腔体操などの介護予防活動が身近な地域で行えるよう、各種市民団体のリーダーを対象に、介護予防に関する教室を実施していきます。

*高齢者が生きがいを持つて積極的に社会に参加し、自らの介護予防を推進するため、「遊ぶ」「学ぶ」「働く」をキーワードに地域の資源を紹介する冊子「地域参加ガイドブック」を全世帯に配布します。

*実証運行中の根戸ルートは、本格運行への移行について検討します。

誰もが生涯をとおして、健康で自立した生活を安心して送れるまちづくり

●認知症高齢者の支援

*認知症の方やその家族、地域住民が気軽に集い交流を楽しみ、専門スタッフによる認知症の相談もできる場所として、認知症カフェを市内2カ所に設置します。

●障害者支援施設等の整備

*障害を持つ方が住みながら地域で生活するために、南新木に建設を予定している定員6人の障害者グループホームと、久寺家に建設を予定している定員20人の就労継続支援B型事業所の整備を支援していきます。

●健康寿命を延ばす取り組み

*9月に市民と市民活動団体とのマッチングイベントをけやきプラザで開催します。定年退職をした方に多く参加していただき、現役時代につなげた経験を市民活動につなげてもらうとともに、活動を通じて健康の維持を図ります。

*健康寿命の延伸や医療費の抑制につながるためのデータヘルズ計画を、千葉県国民健康保険団体連合会に設置されている保健事業支援・評価委員会の意見を踏まえ策定します。

●高齢者の生活支援

*生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート地域で行う「生活支援コーディネーター」を配置します。

*市のホームページでは、PDFを音声で読み上げる機能を新たに追加し、高齢者や視覚障害を持つ方などに配慮します。

●介護予防の推進

*筋力アップや口腔体操などの介護予防活動が身近な地域で行えるよう、各種市民団体のリーダーを対象に、介護予防に関する教室を実施していきます。

*高齢者が生きがいを持つて積極的に社会に参加し、自らの介護予防を推進するため、「遊ぶ」「学ぶ」「働く」をキーワードに地域の資源を紹介する冊子「地域参加ガイドブック」を全世帯に配布します。

主な都市整備

●手賀沼公園・久寺家線の整備

*用地取得に向け、引き続き地権者と交渉を進めます。



▲整備が進む手賀沼公園・久寺家線

●下水道の整備

*中峠台地区の整備と青山汚水中継ポンプ場の切り替え工事を行います。

●その他の事業

●旅券事務所の開設

*旅券法の改正に伴い、千葉県から旅券事務所の移譲を受けたことから、10月にけやきプラザの我孫子行政サービスセンター内に開設します。

●橋梁の長寿命化対策

*白山跨線人道橋の補修設計とJRが点検を行う船戸跨線人道橋、小暮橋、相野谷橋を含む40橋梁の定期点検を実施します。



▲整備中の新木駅

●あびこバスの利便性向上

*新木ルートは、車両の老朽化に伴い、新車両を導入します。また、地域の要望を踏まえ利便性をさらに向上させるため、10月にルートと増便に向け時刻表の改正を行う予定です。